

令和4年度 旭川地区の巻

事務局 旭川市立大有小学校

旭川市小学校長会は、市内53校（併置校3校、教育大学附属旭川小学校）の校長で組織されている。

今年度は、転入5名、採用10名の新会員を迎え、4月総会にて、活動方針や予算を決定するとともに、新年度役員を選出した。

I 本年度の活動方針

本市では「第2期旭川市教育基本計画〈令和元年度～令和9年度〉」の基本理念「ふるさと旭川から未来にはばたく子どもの育成」の下、三つの目標と七つの基本施策、さらに具体施策として全18の取組が推進されている。

特に「目標1：家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりの推進」においては、コミュニティ・スクール、小中連携教育、学校運営の改善を目指す学校評価等を通じ保護者や地域住民の理解と参画を得た教育活動の充実、信頼される学校づくりなど、令和の時代に対応した質の高い教育を提供する学校経営の推進が求められている。

そのため、本校長会は大目標「次代を展望し学校改善を確実に実現する校長会」を継承し、各校長が諸課題の解決に向けて強いリーダーシップを発揮するため、次項に掲げる三つの重点と11の観点を設定し、組織的な取組を進めているところである。

今年度も本校長会の両輪である各部と各地区校長会の活動の充実を図り、校長の職能向上に取り組むとともに、本年、旭川市で開催される「第65回北海道小学



校長会教育研究旭川大会」に会員の総力を挙げて取り組み、その成果の普及をもって北海道教育及び旭川市教育の振興・発展に努めていく。

II 活動の重点

1 生きる力を確実に育む創意と活力のある学校経営の推進

- ①学習指導要領のねらいを踏まえ、経営方針や重点等を明確にした学校経営の充実
- ②育成を目指す資質・能力を確かに育む教育課程の編成・実施
- ③心豊かにたくましく生きる力を育てる指導の充実
- ④学びの環境を整える教育諸条件の整備・充実
- ⑤危機管理体制の充実と機能の強化

2 信頼と秩序に基づく調和のとれた学校経営の推進

- ①教職員の服務規律保持と適正な勤務管理
- ②教職員の特性を生かした信頼関係を基盤とする協働体制の確立
- ③教職員の資質・能力の向上を図る体系的・計画的な研修の推進

3 会員の協働意識を高める組織強化と福利厚生の実

- ①会員の協働意識の高揚と組織強化
- ②会員の福利厚生の実
- ③全連小、道小と連携した教職員の待遇改善

Ⅲ 各部の活動方針

1 学校経営部

学校経営の実・推進に関する情報提供及び学校課題に関する調査研究等についての業務を推進する。

- ①小学校長会教育経営研究会の開催
 - ②教育改革等に関する調査研究、情報提供、及び成果物の論文応募
 - ③学校課題の抽出、対応策の情報提供
- *道小旭川大会会場部（会同担当）

2 研究法制部

校長の職能向上並びに身分確立に関わる研修、文教、法規等に関する業務を推進する。

- ①上川管内公立小・中学校長教育研究大会の開催
 - ②旭川市小・中学校長法制研究大会の開催
 - ③研究紀要の発刊
 - ④全連小、道小研究大会に関する業務
 - ⑤各地区校長会における研修計画と推進
- *道小旭川大会研修部

3 調査広報部

事業遂行、待遇改善等に関わる調査並びに情報の広報活動に関する業務を推進する。

- ①「小学校時報」、「教育北海道」の発刊に係わる業務
- ②教育予算要望書の作成
- ③会報、会誌の発行

*道小旭川大会会場部（オンライン担当）

4 組織厚生部

会員相互の連帯の高揚に努めるとともに、会員の福利厚生並びに親睦を通じた組織強化に関する業務を推進する。

- ①組織上の対策活動
- ②人事要望に関する事項
- ③親睦及び福利に関する事業
- ④北海道公立学校教職員互助会関係業務
- ⑤全連小・道小からの実態調査

*道小旭川大会庶務部

Ⅳ 役員

会長	石前 聖香（日章小）
副会長	倉本 格克（西御料地小）
〃	大垣 秀彦（千代田小）
監査	西分 健二（近文小）
〃	石塚 睦（北鎮小）
事務局長	佐藤 潤一（大有小）
事務局次長	小野 敦司（永山南小）
〃	玉井 一行（高台小）
〃	高野 拓実（朝日小）
〃	佐藤 美鶴（東町小）
会計	浅野 智子（西神楽小）
学校経営部長	及川 勝也（青雲小）
研究法制部長	石ヶ森孝順（東光小）
調査広報部長	澤田 匡史（神居東小）
組織厚生部長	佐藤 聖士（緑新小）
中央地区会長	北島やよい（新町小）
東部地区会長	横山 市子（愛宕小）
南部地区会長	岸 政継（共栄小）
西部地区会長	菅原 彰（北光小）
北部地区会長	野村 智明（末広北小）
新永地区会長	千葉 憲史（永山小）
神居地区会長	鈴木由美子（忠和小）
神楽地区会長	荒川 義弘（神楽小）